

A Long Vacation

二学期制の本校では、まだ学期末という区切りではありませんが、この後41日間の長いBREAKに入るため、ここでいくつか皆さんにお伝えしておきます。

1 夾竹桃祭

既に一週間前のことになってしまいますが、改めて、夾竹桃祭、お疲れ様でした！まさに奇跡的に、ここに合わせたかのように涼しくなったこともあり、熱中症も出ませんでしたし、大きな事故等もなく終えることができました。

オープニングでの皆さんの気合いは凄まじかったですが、それとは対照的に、フィナーレでのテンションの低いこと…いや、それは勲章です！みんなが疲れ切っていたということは、2日間皆さんがやり切ったという証です！「楽しむ(ENJOY) & 楽しませる(ENTERTAIN)」をしっかり実践してくれたのがよくわかりました。

来校いただいた御家族の方々には楽しんでいただけたと思いますし、この本校の雰囲気を感じてくれた小学生・中学生は、「市千葉に入りたい！」という思いを強くしたに違いありません！文化祭はPRが主たる目的ではないのですが、現実として、最も影響力のある機会だと言えます。その点でもホント良かったなと思っています！

2 頑張って／頑張らないで

これは、4月7日の始業式で2・3年生の皆さんに伝えた言葉です。「市千葉ほど恵まれた学校はない！頑張ってそれを最大限活用してください！」ということと、「でも、何かをやろうとすれば、必ず壁にぶち当たります。辛く苦しいときは、頑張りすぎずに必ず誰かと共有してください」と、そんな思いから話したことでした。

例えば今年のSS-Science Camp I (茨城方面への研修)には、例年より多い37名の希望者がいました。こういう学校の企画でなくても、個人的なことでも何でもよいので、市千葉生である間に、何か新しいことに主体的にぜひ取り組んでください！高校の3年間なんて、あっという間に過ぎてしまうものなので…。

3 余裕を持って

先生方は皆、遅刻の撲滅を目指して皆さんに声を掛け続けてきました。その甲斐あってか、以前よりはずいぶん減ってきているようです。ただ…「より高く」を目指す市千葉生は、「間に合えばいい」ではダメですよね。ぜひ余裕を持ってもらいたいです。

朝、昇降口までの階段を駆け上がってくる人…或いは休み時間、教室移動のために廊下や階段を走り回っている人…アブナイなと思っていつもヒヤヒヤしています。遅れないようにという意識はとても大切なのですが、しかしそれなら、動き出しを早くしてもらえたら…と願います…。

4 学校推薦型選抜について

「動き出し」と言えば…進路実現について…。

3年生は、いよいよ志望校を確定する時期に差し掛かりました。そのような時に気をつけなければならないのは、ズバリ、「焦り」です。焦りがあると、「早く勉強から解放されたい」、「早く決めて安心したい」という気持ちになり、当初の志望を下方修正するような羽目になりがちです。

このことを踏まえ、今年度、学校推薦型選抜の校内基準を少し改定することとしました(詳細は別添参照)。我々職員の思いとしては、とにかく、「ミスマッチ」を防ぎたい、ということです。焦ったり、弱気になったりして決めた大学に進学して、その後に悔やむようなことになってほしくない…そういうことです。

1・2年生の皆さん。この話を自分事として捉えてください。「焦り」の原因は、ズバリ、「動き出しの遅さ、つまり準備不足」です。日頃から時間に対する感覚が甘い人は、進路実現においても大きく後手を踏む恐れがあります…。

5 最後に、お願い

(1) まずは健康第一！

- ・食事・睡眠・運動のバランスを！早寝・早起きのリズムを！
- ・熱中症・落雷には要警戒！⇒意識を高く&ムリをしない！
- ・苦しいこと、辛いことがあったら、一人で抱えず、必ず誰かに伝える！
⇒友達、家族、先生、外部の相談窓口…誰でもOK！

(2) 事件・事故に注意！

- ・交通事故、水難事故、恐喝事件・暴行事件・性犯罪…等
- ・スマホやSNSを巡るトラブル ※被害者にも加害者にもなり得てしまいます…
⇒いじめ、闇バイト、違法カジノ、課金トラブル、性犯罪、個人情報流出…等

(3) 長期休業だからこそできることを！

- ・勉強(特に苦手克服！)・読書・趣味・資格・検定(特に英検！)・楽器・探究活動…

【おまけ】

個人的に、夏は必ず何らかの戦争関係の本を読むようにしています(夏に限ったことではありませんが、特に夏は、ということです)。

数ある戦争にまつわる小説の中で、特に印象深かったものの一つが、吉村昭さんの「殉国 陸軍二等兵比嘉真一」です。

吉村昭さんは、私が好きな作家の一人です。彼の作品を一つ読むと、きっとハマって、すべて読んでみたくなるのではないのでしょうか。とてもわかりやすく、シンプルな文体で、しかしだからこそ強いリアリティがあり、ヒリヒリするような緊張感が迫ってくる…それが大きな特徴です。扱う内容は、戦争の他に、漂流、逃亡、歴史、医療、生と死…史実に基づいた作品が多いので、勉強に役立つという副産物もあります。

「殉国」は沖縄戦を題材にした作品なので、普通科の2年生には特にお勧めです。短い作品なので、ぜひ手に取ってみてください。

それでは皆さん、8月29日(金)にまたお会いしましょう！

※8/29(金)は授業もなく、午前日課ですから、リハビリみたいなつもりで、ちょっと気軽に学校に来てください！(但し、時間には余裕を持って！)